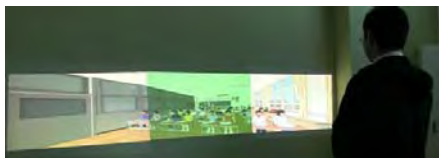


**研究機関名**：香川大学、高知工科大学、岩手県立大学

**研究の概要**：香川大学・危機管理研究センター運用されている「災害状況再現・対応能力訓練システム」これまで香川大学の研究室でのみでしか体験できなかったシミュレータを遠隔でも体験できるような仕組みをJGNのプロジェクトとして研究されています。研究では2016年1月に訓練実施側（香川大学）－体験者側（高知工科大学）間で3面スクリーンすべてを用いて、防災シミュレータの映像を配信。本研究の成果を踏まえ、遠隔仮想防災シミュレータによる訓練の実施や、遠隔地との連携訓練シナリオなど遠隔地を生かした訓練教材の開発も進める予定。JGNでの伝送技術には岩手県立大学（橋本先生）で開発されたMIDFIELDを採用。また新JGNでは仮想マシンも活用する事により、研究の可能性が広がることも期待されます。

テストベッドの活用シーン



画面イメージ：  
高知に伝送された3画面のシステム



遠隔訓練実施の様子  
(高知工科大学)

香川大学からJGNを活用して  
体験映像を伝送

画面イメージ：  
香川大学で運用中の3画面のシステム



防災シミュレータの概要  
(香川大学さまご提供)

高知工科大学

高知CP

香川大学

・将来的には遠隔地からの体験者の訓練の映像を見ながら、評価やシステムの操作をおこなう。